

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和4年度採択）

F S（実行可能性調査）評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2022-5	再生可能な水素を併産するバイオマスベースの舗装材に関する技術研究開発	東京都市大学 准教授 高津 淑人	D
<p><研究の概要></p> <p>石油アスファルトをバイオマス発電副生タールで置き換えることを目指して、当該タールの改質技術を開発し、改質タールから成る舗装材を試作・評価する。併せて、タール改質の副生物を再生可能な水素の製造にリサイクルすることを研究する。</p> <p><F S評価結果></p> <p>カーボンニュートラルへの貢献が見込まれる画期的かつ社会的意義の高い研究であるが、本格採択に向けた条件である品質や製造コストを踏まえると、実用化に向けて解決すべき課題が多く、F S調査結果からは提案の研究計画で成果が得られると認められるだけの知見は示されていないと判断した。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> • これまでの実験結果を踏まえて、改質ピッチの製造に適した反応条件、混合方法などの実用化可能な組み合わせを明示してほしい。また、材料の調達性やコストなどの実現性についても前提として明示すべきである。 • F S成果からカーボンニュートラルへの貢献が難しいことが明らかになったことから、蒸留減圧技術の改善を目指すとされているが、そのために必要な研究の方向性や、その実現可能性を示す必要がある。 • 改質ピッチについて、ストアスに近づける手法のみならず、改質ピッチの特性を踏まえたバインダーとしての独自の性能評価法にも着目すべき。バインダーとしてストアスの性状に改質させることに着目することのみならず、混合物として成立させるために、バインダーとして改質ピッチを利用することを優先して考えるべき。 			

※本 FS 評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 47 回新道路技術会議において審議したものである。